

議会だより

平成19年3月定例会 No 161
H19.4.29 発行

編集発行：我孫子市議会：電話7185-1655

少子高齢化 市税減少傾向での対応は

あひこ無所属クラブ 海津 新菜 議員

質問 当市は、県内でも市税徴収率が高く、市民のモラルが高いといえるが、残念ながら給食費の滞納の話や給食費の不正滞納はどのような状況か。また、その理由を把握しているか。

教育総務部長 十八年度一月末現在の滞納額は、二百三十二万八千八百五十一円で、滞納者のなかった学校は二校。主な理由は、銀行口座への入金忘れが大半で、収入が不安定な家庭の増加や規範意識の低下なども要因になっている。今後とも集金の努力を続けるとともに、生活困窮などで支払いが困難な場合には、実情に応じて対応する。

質問 二〇〇七年には、団塊の世代の大量退職で年金生活者が増えるが、市税への影

響をどう捉えているか。また市職員の退職予定者の数、職員の大量退職による影響は歳出にどう現れるか。

助役 高額納税者でもある団塊の世代が、毎年千人程度会社を退職するため、個人市民税は減収する見込み。市職員の退職は、十九年度の四十四人を皮切りに五年間で約二百人になり、千葉県市町村総合事務組合に納付する退職負担金は増加するが、人件費全体では、新規常勤職員の採用抑制と新陳代謝により減少する見込み。職員構成が大きく変動することから、業務に与える影響を最小限にとどめ、団塊世代のノウハウの引き継ぎが課題と考えている。

質問 国民保護計画などで緊急避難、NBC（欄外解説）

特殊対応など消防の役割範囲が大きくなる。地元在勤の男性が減少して、消防団のなり手を女性にも求めている現状があり、少子高齢化でもある中、消防人員が手薄になるなどしていないか。

消防長 現在の消防職員定数は百四十六人で消防組織法に基づく充足率は七十一・二％となっている。今後も、現在の人員を踏まえ、有効な車両運用を図り、体制を見直すなど社会動向を見据えながら検討・改善を重ね、市民の安全確保に努める。救急救命士については、現在十一人を確保しているが、高規格救急自動車との整備と合わせ、二十年度までに十六人の救急救命士を養成する。

質問 当市はオゾン高度浄化で水道水の塩素を下げながら、安全でおいしい水を供給する努力をしている。近年、東京、神奈川の水道局でもベ

ットボトルで水道水を買って出しPRしている。我孫子の水も安全でおいしい水であることとをホームページなどでもっとPRしてはどうか。

水道局長 毎年水質検査を実施し、その結果をHPや広報紙「あひこの水道」で公開

NBC = 「Nuclear」(核) 「Biological」(生物) 「Chemical」(化学) の総称。

している。今後は、HPや広報紙を充実させ、水道水の安全性についても、その根拠を明示しながら解説し、安全でおいしい水のPRに努める。

質問 新しく建設された大型マンションでは、生ゴミ粉碎机（デイスポーター）を設置して、生ゴミを収集せずに流してしまうが、下水道への影響はないのか。また、家庭

での使用が普及した場合に問題はないのか。

建設部長 デイスポーターの設置は、下水道管などに影響を与えないよう、沈殿槽などが設置された排水処理槽付きの処理システムに限って使用を認めている。家庭での使用についても同様で、職員が完了検査を行う際に確認しているため問題はない。